

令和 8 年 8 月 12 日

燧灘貧酸素情報（第 1 号）

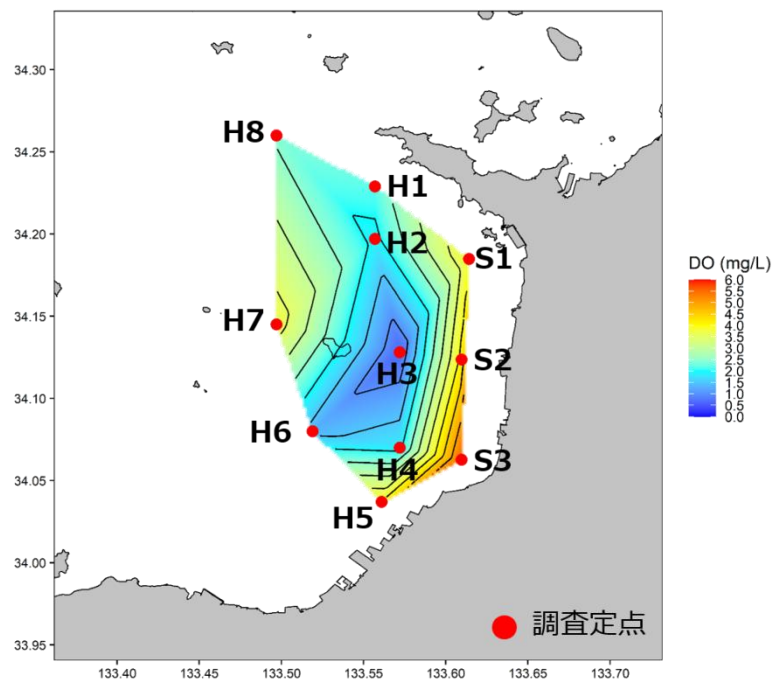
香川県水産試験場

令和 8 年 8 月の調査結果

8 月 4 日に行いました調査の結果をお知らせします。

【概況】

- ・ 8 月上旬の燧灘では、沖合（定点 H3、H4、H6）を中心に底層の溶存酸素量が低下しており、底生魚類の生存困難とされている 2.2 mg/L を下回っています。
- ・ 表層と底層の水温差が最大 8℃ 前後（定点 H3；水深約 25 m）であり、海水の上下混合が起きにくい状況と思われます。



溶存酸素量 (DO) の目安 *

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。